

介護職員実務者研修シラバス

指定番号

商号又は名称： 湘南ケアカレッジ

項目番号・項目名	人間の尊厳と自立	
指導目標 ・ねらい	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解する。	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (5時間)	(1) 生活支援の考え方 ①ニーズについて ②自立について ③自立支援について	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	(2) ノーマライゼーション ① ノーマライゼーションの考え方 ② ノーマライゼーションの意義と影響 ③ ノーマライゼーション理念の課題	
	(3) 権利擁護 ①個人の尊厳の確保と権利擁護の理念 ②権利擁護のための制度 ③審査請求および苦情申し立ての制度	
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	社会の理解 I	
指導目標 ・ねらい	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (5時間)	1) 介護保険制度 ① 介護保険制度の概要 ② 要介護認定とケアマネジメント ③ 介護サービスの種類と内容 ④ 介護サービス事業者と施設 ⑤ 介護報酬 ⑥ 介護財源 ⑦ 介護保険はなぜつくられたのか ⑧ 介護保険の実施状況	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	社会の理解Ⅱ	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえる。</u> ・ <u>社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得する。</u> ・ <u>障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。</u> ・ <u>成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解する。</u> 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (30時間)	(1) 生活と福祉 ① 生活の定義 ② 生活者とは、生活における適応技能について	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	(2) 各国の介護と福祉の制度 ①家族介護から社会介護へ ②海外の福祉と日本の現状	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	(3) 障害者自立支援制度 ①改正・障害者自立支援法と障害福祉サービスの概要	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	(4) 介護実践に関する諸制度 ① 医療制度 ② 年金制度 ③ 所得保障 ④ 生活保護 ⑤ 児童家庭福祉 ⑥ 住宅および居住対策 ⑦ 成年後見制度	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
		/
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	介護の基本 I	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務等を理解する。</u> ・ <u>個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解する。</u> ・ <u>介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守する。</u> 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (10時間)	<p>(1) 介護福祉士制度</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 介護福祉士資格制度の成立 ② 法律上、定められた「介護福祉士」とその教育内容 ③ 資格取得の方法等 <p>(2) 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 尊厳を支えるケア ② ICF－概念、歴史、なぜ大切なのか ③ ICF のツールの使い方、実践の方法 ④ リハビリテーションの理念、基礎 ⑤ リハビリテーション医療の過程 ⑥ リハビリテーションチーム職種との連携 ⑦ 介護予防とリハビリテーション <p>(3) 介護福祉士の倫理</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 倫理と尊厳の責務 ② 守秘義務、個人情報保護と活用、情報開示 ③ 契約とサービス ④ 身体拘束の禁止 ⑤ 虐待の防止 	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	介護の基本Ⅱ	
指導目標 ・ねらい	<p>・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握する。</p> <p>・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得する。</p> <p>・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得する。</p> <p>・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得する。</p>	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	<p>(1) 介護を必要とする人の生活の理解と支援</p> <p>① 生活環境のとらえ方</p> <p>② すべての人を対象とする地域生活支援</p> <p>③ 地域アセスメントの技術と方法</p> <p>(2) 介護実践における連携</p> <p>① チームケア</p> <p>② 連携とチームケア</p> <p>(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント</p> <p>① リスクマネジメント</p> <p>(4) 介護職員の健康管理と労働法規</p> <p>① 介護職員の健康管理、ストレスマネジメント</p> <p>② 介護職員の労働の権利と制度</p>	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	コミュニケーション技術	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得する。 ・援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。 ・利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用する。 ・状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化する。 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	(1) コミュニケーションの基本的理解 ① コミュニケーションを考える ② 他者を理解する・自己を理解する ③ 信頼関係を築くための基本的姿勢 ④ 適切なコミュニケーションのために ⑤ コミュニケーションと信頼関係 ⑥ 相談援助とは	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	(2) 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ① 高齢者とその家族の心理の理解 ② 障害児(者)とその家族の心理の理解 ③ こころのケアの基礎 ④ 家族支援	
	(3) 介護におけるチームのコミュニケーション ① コミュニケーション手段の障害 ② チームケアを実践するために ③ 記録の意義と重要性	
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	生活支援技術 I	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援におけるICF の意義と枠組みを理解する。 ・ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施する。 ・介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容口腔清潔、家事援助等）を修得する。 ・居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・留意点を理解する。 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	(1) 生活支援と ICF ①生活支援と ICF の考え方	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	(2) ボディメカニクスの活用 ①ボディメカニクスを活用した介護の原則	
	(3) 介護技術の基本 ①介護技術の展開 ②食事の介護 ③排泄・尿失禁の介護 ④移動、歩行の介護 ⑤入浴・清潔の介護など	
	(4) 環境整備、福祉用具活用等の視点 ①在宅生活と福祉用具・住宅改修の意義 ②福祉用具と住宅改修の基礎 ③室内整備と掃除 ④音、光、換気、空調、五感へのはたきかけ	
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	生活支援技術Ⅱ	
指導目標 ・ねらい	<u>以下について、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができる。</u> <u>・移動・移乗 ・食事 ・入浴 ・清潔保持 ・排泄 ・着脱、整容、口腔清潔</u> <u>・睡眠 ・終末期の介護</u>	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (30時間)	(1) 介護技術の基本 ①介護技術の展開 ②食事の介護 ③排泄・尿失禁の介護 ④移動、歩行の介護 ⑤入浴・清潔の介護など	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	(2) 環境整備、福祉用具活用等の視点 ①在宅生活と福祉用具・住宅改修の意義 ②福祉用具と住宅改修の基礎 ③室内整備と掃除 ④音、光、換気、空調、五感へのはたきかけ	
	(3) ターミナルケア ①ターミナルケアの条件とチームアプローチ ②ターミナルケアにおける倫理	
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	介護過程 I	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>介護過程の目的、意義、展開等を理解する。</u> ・<u>介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。</u> ・<u>チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を理解する。</u> 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	(1) 介護過程の基礎的知識 ①ケアプランとサービス計画に関する基礎的理解 ②居宅サービス計画・各サービス計画とサービスの関係	介護福祉士実務者研修テキスト第3巻 介護過程(中央法規)
	(2) 介護過程の展開 ①アセスメントとニーズの把握 ②居宅ケアプランの作成 ③各サービス計画	
	(3) 介護過程とチームアプローチ ①ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録 ②介護職員のアセスメントと連携、ケアプラン・サービス計画の見直し	
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	介護過程Ⅱ	
指導目標 ・ねらい	情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行う。	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (25時間)	(1) 介護過程の展開 ①アセスメントとニーズの把握 ②居宅ケアプランの作成 ④ 各サービス計画	介護福祉士実務者研修テキスト第3巻 介護過程(中央法規)
	(2) 事例に基づいた介護過程の展開 ①介護計画の立案と実施に至るまで ②介護計画に基づくサービス提供の実施 ③介護計画における評価	
	(3) 介護職による介護過程の実際 ①介護職が展開する生活支援としての介護過程 ②実践例から学ぶ介護過程	
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	介護過程Ⅲ（面接授業） 介護過程の意義と目的、アセスメントと計画立案	
指導目標 ・ねらい	<p>これまでに学んだ知識、技術、経験を総合的に活用し、利用者の心身に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメントから介護計画提案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等など）を提供できる。</p> <p>介護計画に沿って、安全確保や事故防止、家族との連携・支援、他職種・他機関との連携を行うことができる。</p>	
時間	カリキュラム	テキスト
面接授業 (45時間・6日間)	<p>(1) ケアマネジメントと介護過程</p> <p>①介護過程とチームケア ②チームケアにおける介護職の役割 ③生活支援と ICF の考え方</p> <p>(2) 介護の専門性を活かした介護過程</p> <p>①介護過程の理解 ② 介護計画におけるアセスメント ③ 介護計画における課題の明確化 ④ 個別介護計画の立案と実施にいたるまで ⑤ 個別介護計画に基づくサービス提供の実施 ⑥ 個別介護計画における評価</p> <p>(3) 介護過程の展開</p> <p>① 事例の概要 ② 家族構成および生活歴 現在の状況（フェイスシート、アセスメント表、個別援助計画立案、個別援助計画評価について）</p> <p>(4) 個別援助計画作成と介護技術の展開、個別技術演習と評価</p> <p>(5) 実技評価試験</p> <p>①提示された事例に基づき、介護福祉士国家試験実技試験と同じ要件、手順の試験形式で介護技術の評価を行う。 ③ 試験以外の受講生は、レポート（事例に基づく介護過程の展開）を作成し、提出する。</p>	介護福祉士実務者研修テキスト第3巻 介護過程（中央法規）
使用する機器・備品等	車椅子、杖、ポータブルトイレ、トイレ物品一式、洗面器、バケツ、シーツ等	

項目番号・項目名	発達と老化の理解 I	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解する。</u> ・ <u>老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解する。</u> 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (10時間)	<p>(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常生活への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者の身体的特徴 ② 高齢者の精神的特徴 ③ 睡眠と休息の意義 	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	発達と老化の理解 II	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>発達の定義、発達段階、発達課題について理解する。</u> ・ <u>老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解する。</u> ・ <u>高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解する。</u> 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	<p>(1) 老年期の発達・成熟と心理</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 老化とは ② 老年期の発達課題 ① 高齢者の心理的課題と支援の留意点 ② 人間の成長・発達の理解 <p>(2) 高齢者に多い症状・疾病等と留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者の疾病と食事・栄養管理 ③ 健康チェックとバイタルサイン ⑤ 感染症の種類と特徴 ⑥ 高齢者に起こりやすい感染症 ⑦ 呼吸器症状と食中毒等の疾病 ⑧ その他の訴え・症状と疾病 	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	認知症の理解Ⅰ	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解する。</u> ・ <u>認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解する。</u> ・ <u>認知症の人やその家族に対する関わり方の基本を理解する。</u> 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (10時間)	<p>(1) 認知症ケアの理念</p> <p>① 認知症介護の基本と必要な観察、見守り</p> <p>① 寄り添うケアの意味するところ</p> <p>② 人間らしく生きていくことへの支援</p> <p>③ 認知症介護における学びと共感</p> <p>(2) 認知症による生活障害、心理・行動の特徴と支援の基本</p> <p>① 認知症高齢者の心理的特徴</p> <p>① 認知症の症状と障害の考え方</p> <p>② 問題とされる行動の心理的背景と対応</p>	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	認知症の理解Ⅱ	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解する。</u> ・ <u>認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援できる。</u> ・ <u>地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</u> 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	<p>(1) 医学的側面からみた認知症の理解</p> <p>① 認知症とは</p> <p>① 認知症の中核症状と周辺症状</p> <p>② 認知症を引き起こす原因と発生誘因</p> <p>一脳血管性認知症、アルツハイマー型認知症など</p> <p>(2) 認知症高齢者の事例に基づいた介護過程の展開</p> <p>① 介護計画の立案と実施に至るまで</p> <p>② 介護計画に基づく地域サービス提供の実施</p> <p>③ 介護計画における評価</p> <p>(3) 認知症の人や家族への支援の実際</p> <p>① 在宅認知症高齢者をかかえる家族の理解</p> <p>② 認知症高齢者の家族へのケア</p> <p>③ 社会資源の活用</p> <p>④ 認知症介護と医療・保健・福祉サービス</p>	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	障害の理解 I	
指導目標 ・ねらい	<p>・ <u>障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解する。</u></p> <p>・ <u>障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解する。</u></p> <p>・ <u>障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解する。</u></p>	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (10時間)	<p>(1) 障害者福祉の理念 障害者福祉制度・施策の背景と動向、障害者理解の課題</p> <p>(2) 障害の理解 身体・知的・精神・発達障害・難病等の定義と特徴</p> <p>(3) 障害児（者）への支援の実際 ①障害児（者）福祉の理念 ②障害児（者）の支援方法</p> <p>(4) 障害者（児）や家族への支援の実際 ① 障害者（児）をかかえる家族の理解 ② 障害者（児）の家族へのケア ③ 社会資源の活用 ④ 障害者（児）介護と医療・保健・福祉サービス</p>	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	障害の理解Ⅱ	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得する。 ・障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援できる。 ・地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	医学的側面からみた障害の理解 ① 身体障害 ② 知的障害 ③ 精神障害 ④ その他の障害 ⑤ 難病対策 ⑥ 疾病・障害の需要	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	障害者(児)の事例に基づいた介護過程の展開 ① 介護計画の立案と実施に至るまで ② 介護計画に基づく地域サービス提供の実施 ③ 介護計画における評価	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	こころとからだのしくみ I	
指導目標 ・ねらい	介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得している。	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (20時間)	人体の構造と機能 ① 生活習慣病の理解 ② 高血圧と糖尿病 ① 筋骨格系疾患 ② 口腔疾患 ③ 眼科疾患 ④ 皮膚科疾患 ⑤ 呼吸器疾患 ⑥ 泌尿器科疾患 ⑦ 神経系疾患 ⑧ 精神疾患 ⑨ 介護保険制度における特定疾病の概要	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
	高齢者に多い病気とからだのしくみ ① 高齢者の代表的な疾患 ② 代表的な骨、関節系の疾患 ③ 代表的な感覚器系疾患 ④ 泌尿器系疾患 ⑤ 脳・神経系の疾患	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	こころとからだのしくみⅡ	
指導目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得する。 ・生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得する。 ・身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。 	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (60時間)	<p>人間の心理</p> <p>①人間の欲求と自己実現</p> <p>②こころのしくみの基礎</p> <hr/> <p>身じたくに関連したしくみ</p> <p>①身じたくのしくみ心身機能低下が身じたくに及ぼす影響</p> <p>②身じたくにおける変化の気づきと対応</p> <hr/> <p>移動に関連したしくみ</p> <p>① 移動のしくみ</p> <p>② 心身機能低下が移動・移乗に及ぼす影響</p> <p>③ 移動における変化の気づきと対応</p> <hr/> <p>食事に関連したしくみ</p> <p>① 食事行為のしくみ</p> <p>② 心身機能低下が食事に及ぼす影響</p> <p>③ 食事における変化の気づきと対応</p> <hr/> <p>入浴・清潔保持に関連したしくみ</p> <p>① 入浴・清潔保持のしくみ</p> <p>② 心身機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響</p> <p>③ 入浴・清潔保持における変化の気づきと対応</p> <hr/> <p>排泄、睡眠に関連したしくみ</p> <p>① 排泄、睡眠のしくみ</p> <p>② 心身機能低下が排泄、睡眠に及ぼす影響</p> <p>③ 排泄、睡眠における変化の気づきと対応</p> <hr/> <p>からだとこころのしくみの事例に基づいた介護過程の展開</p> <p>① 介護計画の立案と実施に至るまで</p> <p>② 介護計画に基づく地域サービス提供の実施</p> <p>③ 介護計画における評価</p> <hr/> <p>死にゆく人のこころとからだのしくみ</p> <p>① 死を理解する</p> <p>② 終末期から危篤時、死亡時のからだの理解</p> <p>③ 死に対するこころの理解</p> <p>④ 医療食との連携</p>	介護職員実務者研修テキスト (ミネルヴァ書房)
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	医療的ケア	
指導目標 ・ねらい	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。	
時間	カリキュラム	テキスト
通信添削のみ (50時間)	安全な療養生活 1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施 2 救命蘇生法 3 健康状態の把握 4 口腔内吸引の基礎知識	介護福祉士実務者研修テキスト第5巻 医療的ケア(中央法規)
	清潔保持と感染予防 1 感染予防 2 介護職員の感染予防 3 療養環境の清潔と消毒方法	
	高齢者および障害者のたん吸引概論 1 呼吸のしくみと機能 2 呼吸状態に変化が起こるのはなぜか 3 たんの吸引とは 4 人工呼吸器と吸引 5 小児の吸引 6 吸引を受ける利用者や家族の気持ち、説明と同意 7 たんの吸引に関わる呼吸器系の感染と予防 8 たんの吸引により生じるトラブルとインシデント報告 9 急変・事故発生時の対応と対策	
	たんの吸引の実践 1 たんの吸引実施の流れ 2 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ 3 たんの吸引の実践 4 吸引の手順と評価 5 たんの吸引に伴うケア 6 報告と記録	
	高齢者および障害者(児)の経管栄養 1 消化器系のしくみと働き 2 消化器のさまざまな症状 3 経管栄養法とは 4 注入する内容に関する知識 5 経管栄養を行う際の留意点 6 小児の経管栄養 7 経管栄養に関する感染と予防 8 経管栄養実施の流れ 9 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ 10 経管栄養の実践 11 経管栄養の手順と評価 12 経管栄養に必要なケア 13 報告と記録	
使用する機器・備品等	テキスト、課題集	

項目番号・項目名	医療的ケア（演習）	
指導目標 ・ねらい	医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を修得する。	
時間	カリキュラム	テキスト
9:30～18:30 (8時間、途中休憩あり)	高齢者及び障害者（児）のたん吸引の実施手順解説、演習 ① 口腔5回以上 ② 鼻腔5回以上 ③ 気管カニューレ内部5回以上	介護福祉士実務者研修テキスト第5巻 医療的ケア(中央法規)
	高齢者及び障害者（児）の経管栄養の実施手順解説、演習 ① 胃瘻5回以上 ② 経鼻経管栄養5回以上	
	心肺蘇生法の実施手順解説、演習	
使用する機器・備品等	吸引装置一式、経管栄養用具一式、処置台、吸引訓練モデル、経管栄養訓練モデル、心肺蘇生訓練用機材一式、人体解剖模型	